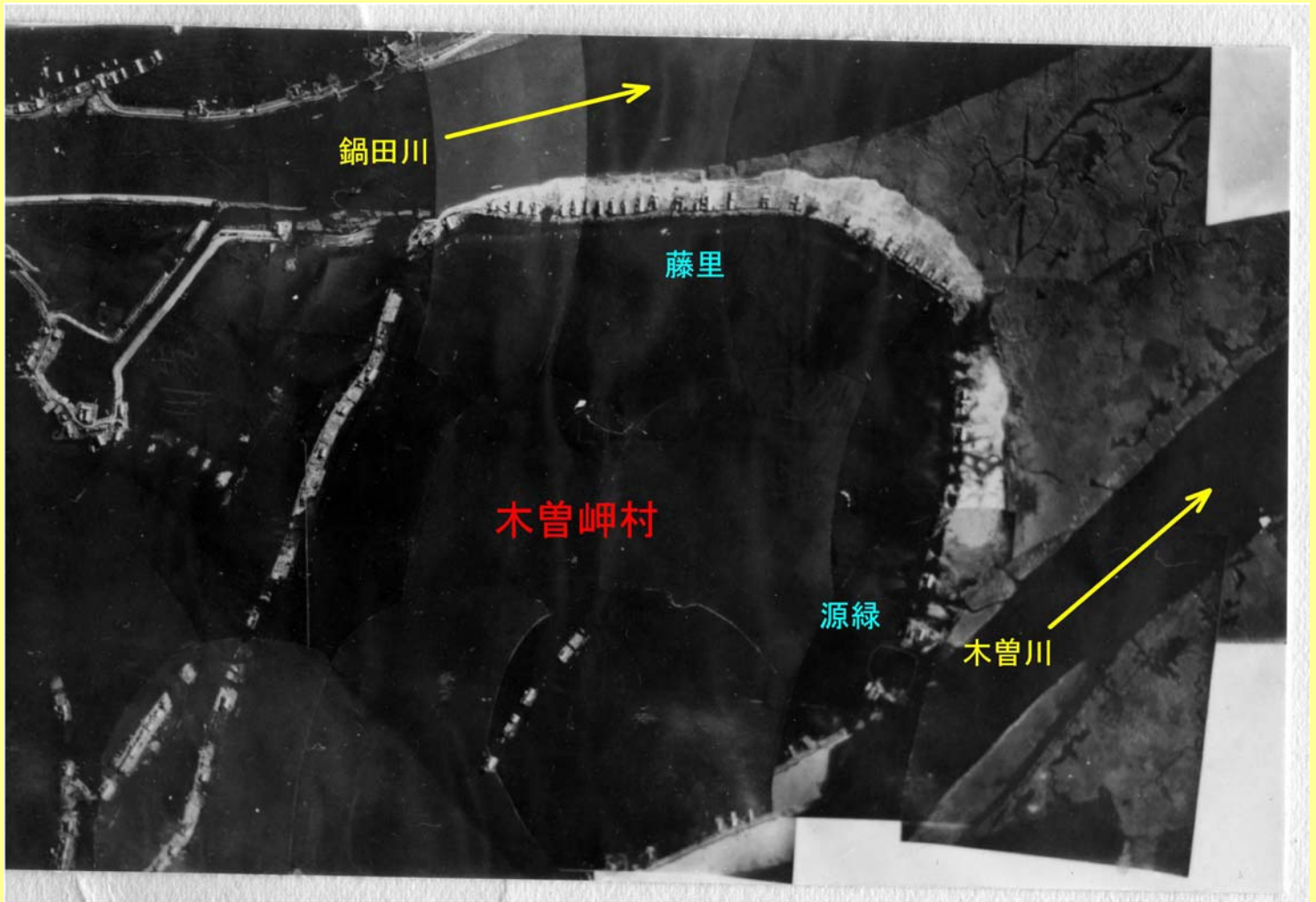
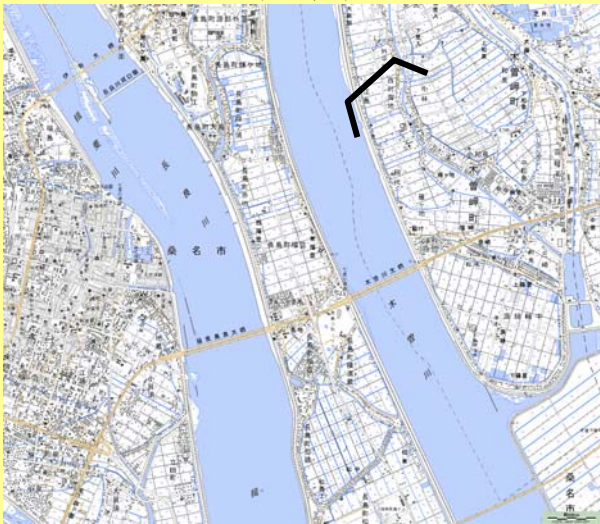


伊勢湾台風写真台帳



写真名称： 木曽岬村南部を上空から望む	現地状況、コメント等
エ リ ア： 三重県	被災した方の所見（木曽岬村） 源緑輪中付近であり、海岸堤防の破堤部が見られる。 藤里は、当時 25～26 軒の家屋が堤外地に立っており、普段、家の中から川の流れが見えていた。建設省は、伊勢湾台風後に藤里周辺の土地が民地であったため、海側に土地を購入して海岸堤防を築いた。 藤里の民家及びその付近の土地は元々地盤高がやや高かった。そのため、藤里付近では 1m 程度浸水したが、台風後は比較的早く水が引いた。藤里地区中央部の破堤箇所は比較的（60 c m 程度）土地が低いところであり、3 軒の家屋が流された。その他の家屋も、柱だけになってしまった家が多く、2 階へ上がる梯子が流されてしまうほど、浸水速度が早かった。 救援のヘリコプターが到着するまで 2 日間程度かかった。その間は、食料や特に水が無くて大変であった。 源緑の破堤部は、波で決壊したと思われる。堤防の表はコンクリートであったが、天端、堤防裏は土盛りであった。
撮影箇所： 木曽岬村	
撮 影 日： 1959 年	
撮 影 者： 陸上自衛隊	
資料提供者： 中部地区自然災害科学資料センター	
状 況： ー	
撮影位置  ※国土地理院発行地形図を使用	